

V. I B S 情報

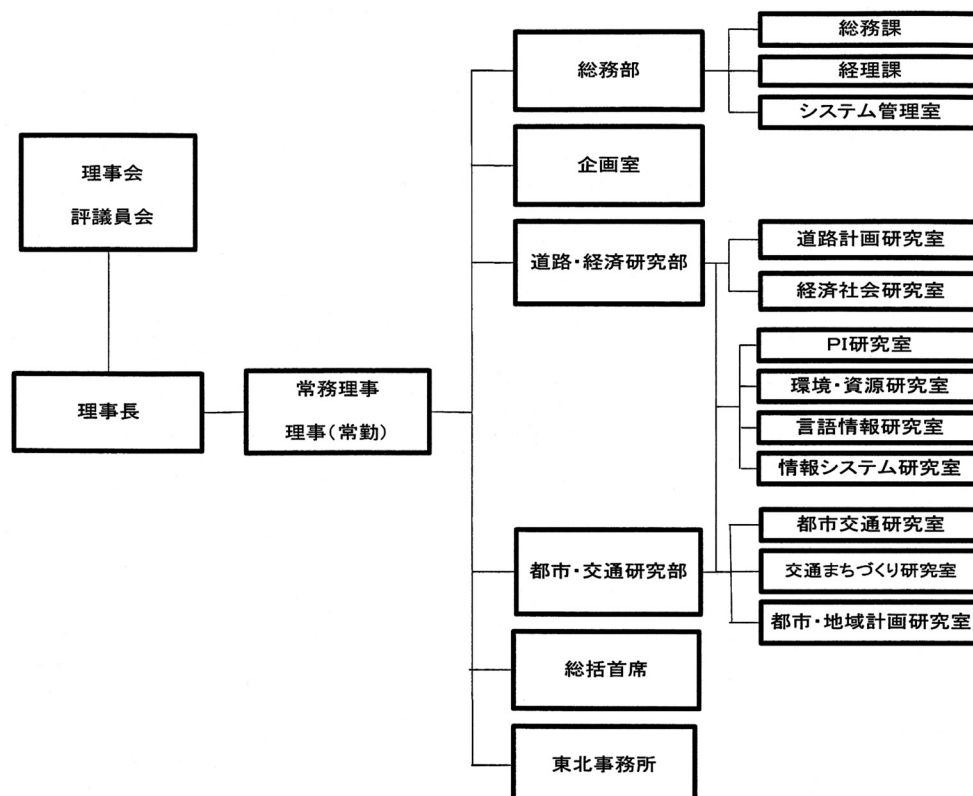
- IBSの概要
- IBSの主な研究活動（2007年度）
- 杜の都だより
- 論文一覧
- 出版図書紹介

IBS の概要

研究所概要

名称	財団法人 計量計画研究所
英文名称	The Institute of Behavioral Sciences
所在地	〒162-0845 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2 番 9 号 Tel. 03-3268-9911 Fax. 03-3268-9919 東北事務所 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 3 番 10 号 (グランシャリオビル 4 階) (平成 20 年 6 月移転) Tel. 022-221-7730 Fax. 022-221-7780
設立年月日	昭和 39 年 7 月 20 日
所管官庁	総務省 国土交通省
基本財産	100,000,000 円
事業目的	寄附行為 第 3 条 (目的) 本財団は、我が国及び諸外国の政治、経済、社会事象の数量的な調査研究を行い、我が国諸官庁を始め諸企業の合理的政策決定及び科学的計画に関する知識普及に寄与することを目的とする。
事業内容	寄附行為 第 4 条 (事業) 本財団は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 行動計画の統計的手法による調査研究 (2) 都市交通計画及びこれに関連する諸計画 (合意形成プロセス、プロジェクト評価を含む) に関する調査研究 (3) 前 2 号の計画に関する社会調査技術及び計量計画化技術の高度化に関する調査研究 (4) 前 3 号に関する事業の受託及び統計情報等資料の収集提供 (5) 内外の統計及び都市交通計画に関する調査研究機関等との連絡及び情報交換 (6) 行動計画及び都市交通計画等に関する国際協力 (7) 研究会、報告会等の開催及び研究結果報告の刊行頒布 (8) その他本財団の目的達成に必要な事業

機構図



IBS の主な研究活動 (2007 年度)

1. 自主研究

次の6つの分野において自主的な研究テーマを設定し、新たな研究の方向性を探ります。

- ① **交通計画の新たな方向に関する研究**
 - ・ 郊外生活に提供されるべきモビリティと公共交通の役割に関する研究 など
- ② **地域開発・都市計画・都市開発に関する研究**
 - ・ 国土マネジメントに関する研究
 - ・ TODに関する研究 など
- ③ **社会調査技術・計量計画化技術の高度化に関する研究**
 - ・ 新しい交通実態調査のあり方に関する研究 など
- ④ **応用経済学に関する研究**
 - ・ 都市と産業：経済学・都市計画・産業政策からのアプローチ
 - ・ 将来交通需要予測のあり方に関する研究 など
- ⑤ **合意形成プロセスに関する研究**
 - ・ パブリックインボルブメントの推進に関する研究 など
- ⑥ **持続ある成長に関する研究**
 - ・ 環境、財政、少子高齢化等を考慮した都市社会システムに関する研究

2. 自主活動

(1) IBS 研究発表会の開催

IBS 研究員による研究成果の発表会を7月17日に開催しました。

(2) IBS フェローシップの実施

第13回として2名の委嘱研究者を決定し、7月17日にIBSフェローシップ発表会を開催しました。

(3) 講習会の開催

第4回総合都市交通計画研修(10月18~19日)、公共事業における市民参画(PI)の実践スキル 第3回PI講習会(8月31日)を開催しました。

(4) 井上文庫(仮称)の公開

故井上孝先生の蔵書を整理し、「井上文庫(仮称)」として公開の準備を進めています。

(5) 出版

- ・ 総合都市交通体系調査の手引き解説書2007年版

3. 国際・国内協力事業

(1) シンポジウム・セミナー・国際会議等の開催・協力

- ・ 日欧シンポジウム「日本とヨーロッパにおける忘れ去られた地域—辺境の未来」開催(9月19~21日ベルリン・ドイツ)
- ・ 「第2回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)」後援(7月27~28日、札幌)
- ・ 「スマートウェイ2007デモ」後援(10月15~17日、東京)

(2) 事業協力

「まちづくり月間」、「都市景観の日」、フィリピンNCTS事業推進などへの事業協力、およびIAESTE(国際学生技術研修協会)研修生の受入を行っています。

(3) 学会等への協力・参加

関連主要学会への積極的な協力・発表・参加とともに、応用地域学会の事務局を務めています。夏季には大学より9名のインターンシップ学生を受け入れました。

(4) 都市計画 CPD 協議会事業への協力

都市計画 CPD 協議会に加盟し、事業運営に協力しています。

4. 資料情報収集・提供

都市・交通に関するデータ収集・提供を行うとともに、WEBにより情報提供を行っています。

5. 研究開発業務

都市、交通、地域経済、環境・資源、言語情報に関する基礎研究・手法開発・マニュアル整備等の研究開発業務を行っています。

6. 受託調査研究業務

総合交通体系調査研究をはじめ、IT技術による政策評価、社会資本整備、プロジェクト評価、まちづくり、合意形成、環境・資源、言語情報、システム開発等に関する受託調査研究業務を行っています。

7. その他

個人情報に関するコンプライアンス・プログラム(JISQ 15001:1999)を確立し、「プライバシーマーク」を取得しました。

杜の都だより

□「杜の都だより」は、東北事務所職員が、地元仙台もしくは東北地方を中心に地域の情報を発進するコラムです。

杜の都仙台の都心部では、現在オフィス用途を中心としたビル建設ラッシュとなっています。図に示すとおり、2007年を皮切りに2008年、2009年と仙台駅周辺での竣工が続きます。これらオフィスビルにはワンフロアが3百坪を越えるビルも多くなっています。不動産情報では、仙台は支店経済で大型物件の供給が少なかったために複数のビルに分散していたグループ企業が、支店・営業所の統合や経費節減のためにこれらの大型物件に切り替えており、これらの新規大型ビルの入居は好調のようです。また、既存のビルに対する投資目的のファンド系の進出の話も周辺から聞くことが多くなり、地元経済誌ではミニバブルの様相を呈していると論評しています。

一方で、オフィスビルの平均空室率は、東京ビジネス地区（都心5区）で2%台、大阪で4%台へと低下傾向にある中、仙台都心での平均空室率は8%台後半で高止まりしており、2008年の大量供給の影響が気になります（空室率は2007年末）。オフィスビル以外にも、全国展開ホテルチェーンや外資系ホテル進出などホテル競争も騒がれる中、仙台では老舗ホテル撤退の噂も出ています。更に都心周辺でのマンション建設も変わらず進んでいます。

今後、都心関連交通は増加すると考えられ、自動車交通対策と都心に求められる賑わいや憩いの空間

整備施策の調和がより重要になると考えています。

2007年秋に宮城県にビッグニュースが飛び込んできました。トヨタ自動車系生産子会社のセントラル自動車が、仙台中心部から北25kmに位置する大衡村に、神奈川県相模原市から従業員ごと2010年に移転するという内容です。宮城県知事の積極的な誘致活動により、当初は岩手県が有力と見られていた中での逆転誘致という報道でした。関連企業の移転・誘致を含め、将来的には従業員5千人規模(想定)の産業拠点が新たに形成されることとなります。県ではバックアップ体制を整え、計画用地の用途変更手続き、近接する東北縦貫自動車道へのIC新設、現在事業中の自動車専用道路仙台北部道路の早期建設要請、未着手となっていた仙台港IC整備など、矢次早の施策展開を公表しています。

宮城県の経済界にとっては喜ばしいことですが、交通面での問題も懸念されます。仙台市の北部には鉄道もなく公共交通が不便な地域のため、このままでは大量の通勤自動車交通が発生することは目に見えています。更に、製品搬送のための大型トレーラー交通対策も必要です。マイカー通勤を低減し、できるだけ交通に負荷をかけないように、職住近接の促進と公共交通利用への誘導、及び仙台北部道路の供用により完成する環状系の自動車専用道路の利用促進が大きな課題となります。現在、宮城県の業務において検討する機会があるため、対策に向けて検討を行っているところです。

仙台市、宮城県ともに、インパクトの大きな事業が動きだしています。我々も、暮らしやすいまちづくりに向けて、関わりを持っていきたいと考えています。

(東北事務所 西山良孝)

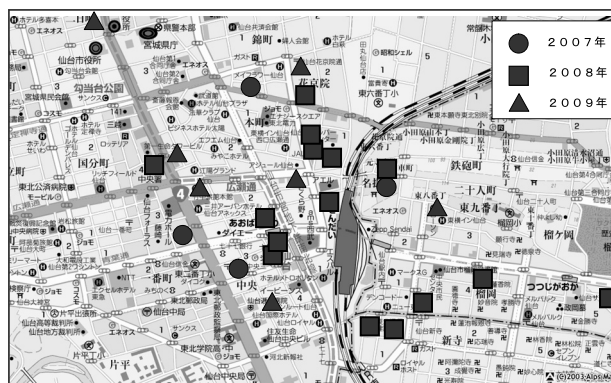


図 仙台都心のビル建設状況

論文一覧

2007 年研究論文（技術論文）一覧

著者	題名	掲載書籍
荒井祥郎, 岩佐賢治, 矢嶋宏光	社会資本整備におけるメデイエーション導入の可能性	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
飯島護久, 福本大輔, 桑原雅夫	首都圏ネットワークにおける動的シミュレーションの適用可能性	第 27 回日本道路会議論文集. 50P06, 2007. 11
家田仁, 須永大介, 和泉晶裕, 高橋清	協働型インフラ・マネジメント手法の発想	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
石神孝裕, 矢嶋宏光, 鈴木温	計画への意見反映のための自由意見集約方法の提案	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
岩佐賢治, 鈴木温, 矢嶋宏光	都道府県の交通計画体系の現状と課題	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
遠藤園子, 岩佐賢治, 矢嶋宏光	社会資本整備プロジェクトにおける複数組織間のパートナーリング～日本における適用課題～	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
大塚裕子	環境の設計はなぜ必要か－評議における参加の場と参加者の役割－	法律時報, VOL. 79, NO. 1, 2007, p. 123-128.
大塚裕子	「自律型対話プログラムによる科学技術リテラシーの育成」のプロジェクト紹介と認知科学的な研究観点による議論	日本認知科学会第 24 回大会論文集. 2007.
大塚裕子, 丸元聡子, 岩佐賢治, 鈴木温, 矢嶋宏光, 奥村学, 屋井鉄雄	市民参画型道路計画における対話支援－対話型アンケートシステムの構築に向けて－ (特集「交通施設整備とコミュニケーション活動」)	交通工学. Vol. 42, No. 2, 2007.
大塚裕子, 山本瑞樹, 乾孝司, 丸元聡子, 奥村学	市民参画型道路計画における対話支援	言語処理学会第 13 回年次大会発表論文集. 2007.
岡本直久, 毛利雄一, 中川浩志	休日余暇交通を考慮した将来 OD 推計のための基礎的研究	土木計画学研究・講演集 (CD-ROM). 2007. 6
尾畑功, 玄間忍, 荒井祥郎, 矢嶋宏光	PI による河川整備計画の策定～庄内川における協働の取り組み～	土木計画学研究・講演集. Vol. 36, 2007. 11
甲斐浩己, 中村俊之, 北村清州, 矢部努, 須永大介, 牧村和彦	福岡における居住者・転入者を対象としたモビリティ・マネジメントの取り組みについて	第 2 回日本モビリティ・マネジメント会議. 2007. 7 27-28 日.
北村清州, 中村俊之, 須永大介, 牧村和彦, 甲斐浩己, 藤井聡	居住者・転入者を対象としたモビリティ・マネジメントの有効性に関する研究～福岡におけるパイロットスタディ～	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
北村清州, 中嶋康博, 千葉尚, 鈴木紀一, 武嶋達夫, 袴田聡	パーソントリップ調査データ収集のための Web 調査の改良	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
北村清州, 中嶋康博, 鈴木紀一, 金城一也, 我那覇亮次	プローブパーソン調査手法の簡素化と観光交通行動調査への適用	土木計画学研究・講演集. Vol. 34, 2006. 11
絹田裕一, 中村俊之, 中嶋康博, 牧村和彦, 花木道治, 高橋誠, 森川高行	ICT を活用した道路工事マネジメントに関する研究	土木計画学研究・講演集. Vol. 36, 2007. 11
桐越信, 毛利雄一, 安部勝也, 青木優	道路投資における費用便益分析のための交通需要予測の方法－実務における予測作業の実施可能性を踏まえて－	高速道路と自動車. Vol. 50, No. 5, 2007, p. 18-26.
今長久, 鹿島茂, 杉田浩	道路交通混雑による所要時間不確実性の損失評価方法に関する研究	交通工学. Vol. 42, No. 4, 2007, p. 81-88.
坂本将吾, 谷下雅義, 鹿島茂, 杉田浩	社会資本の LCA への土地利用交通モデルの適用	第 2 回 LCA 学会研究発表会. 2007. 3
坂本将吾, 初田幸嗣, 杉田浩, 谷下雅義, 鹿島茂	交通行動特性に基づく世帯分類	土木計画学研究・講演集. Vol. 31, 2005. 6
佐野薫, 高田邦道, 白根哲也	道交法改正に伴う放置自動車確認業務の民間委託による大丸有地区の駐車需要特性の変化	第 27 回日本道路会議論文集. 50005, 2007. 11
清水真人, 萩野保克, 飯野正樹	東京都市圏物資流動調査を用いた中心市街地における端末物流に関する研究	土木計画学研究・論文集. Vol. 24, No. 3, 2007. 9
白土保, 丸元聡子, 村田真樹, 内元清貴, 河原大輔, 井佐原均	日本語発話文の敬語の誤用を指摘するシステム	電子情報通信学会論文誌 A. Vol. J90-A, No. 11, 2007, p. 870-882.
鈴木温, 岩佐賢治, 矢嶋宏光	英国の新たな RTS (Regional Transport Strategy) の改定動向	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
須永大介, 中村俊之, 北村清州, 矢部努, 牧村和彦, 小椎尾優	モビリティ・マネジメントプログラム評価のあり方について～福岡におけるモビリティ・マネジメントの取り組みから～	第 2 回日本モビリティ・マネジメント会議. 2007. 7
須永大介, 矢部努, 牧村和彦, 藤井聡	モビリティ・マネジメントにおける行動変容状況の計測と施策効果の測定に関する考察	土木計画学研究・講演集. Vol. 36, 2007. 11
瀬能博之, 加藤昌樹, 高橋勝美	北海道における利用者均衡配分の実務適用に向けた検討	第 27 回日本道路会議論文集. 2007. 11
瀬能博之, 須永大介, 林達朗, 和泉晶裕, 家田仁	北海道における協働型インフラ・マネジメントのあり方	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
土肥徹, 森尾淳, 和泉範之	全国の都市の交通実態とその変化－全国都市交通特性調査の分析に基づいて	第 27 回日本道路会議論文集. 50026, 2007. 11
中野敦	全国都市交通特性調査の実施経緯と調査結果概要	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
中野敦, 青柳太, 中本良一	大規模複合開発などの発生集中交通特性に関する分析	第 27 回日本道路会議論文集. 50044, 2007. 11
中村俊之, 中嶋康博, 牧村和彦, 井坪慎二	トラックプローブデータを用いた旅行時間信頼性指標に関する一考察	土木計画学研究・講演集. Vol. 35, 2007. 6
萩野保克, 遠藤弘太郎	立地選択モデルを用いた東京都市圏における物流施設の立地ポテンシャル分析 ～第 4 回東京都市圏物資流動調査から～	土木計画学研究・論文集. Vol. 24, No. 1, 2007. 9

著者（発表者）	題名	掲載書籍（発表会議・会場）
馬場剛, 小川智弘, 瀧本真理	走行特性対応排出係数を用いた交差点における環境改善施策の評価（その2）	第48回大気環境学会年會講演要旨集（岡山）, 2007
平見憲司, 福本大輔, 久米田真人	札幌都心の交通施策によるCO ₂ 削減効果の推計方法	第27回日本道路会議論文集, 30001, 2007.11
丸元聡子, 大塚裕子	相手に配慮した言語行動の諸相	言語処理学会第13回年次大会発表論文集, 2007.
丸元聡子, 大塚裕子	市民が配慮に欠けると感じる行政コミュニケーションの要因分類	電子情報通信学会2007総合大会公演論文集, 2007.
三島聡・西條美紀・森本郁代・大塚裕子（裁判員裁判とコミュニケーション研究会）	評議のコミュニケーション・デザイン：評議の形式・技法・環境設計	季刊刑事弁護, No. 52, 2007, p. 62-68（うち執筆担当分 p. 66-68）.
水上悦雄, 森本郁代, 大塚裕子, 鈴木佳奈, 井佐原均	話し合いへの印象に影響を及ぼす会話行動：プロの司会者と素人の印象認定の比較および話し合いの相互行為過程の分析（社会言語科学会2007年度徳川宗賢賞萌芽賞受賞）	社会言語科学, Vol. 9, No. 2, 2007, p. 77-92.
溝口秀勝, 秋元伸裕, 鈴木温, 遠藤園子, 矢嶋宏光	スマートグロースの発想に立った我が国における政策マネジメントのあり方に関する研究	土木計画学研究・講演集, Vol. 36, 2007.11
毛利雄一	全国の交通需要予測への全国都市交通特性調査の活用	土木計画学・講演集（CD-ROM）, 2007.6
森尾淳, 杉田浩	ライフステージに着目した地域間人口移動の変化分析	土木研究学術研究・講演集, Vol. 35, 2007.6
矢部努, 須永大介, 牧村和彦, 甲斐浩己, 谷口綾子	福岡市における転入者対象モビリティ・マネジメントの効果分析	土木計画学研究・講演集, Vol. 36, 2007.11
山本瑞樹, 乾孝司, 高村大也, 丸元聡子, 大塚裕子, 奥村学	自由回答中の要望とその根拠の同定	言語処理学会第13回年次大会発表論文集, 2007.
A. NAKANO, Y. MOHRI, M. TANIGUCHI	CHARACTERISTICS OF TRANSPORT BY HOUSEHOLD AND INDIVIDUAL ATTRIBUTES IN JAPANESE CITIES	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies Vol. 7, p.713-728.
Akihiro IZUMI, Daisuke SUNAGA, Tatsuro HAYASHI, Hiroyuki SENOU, Taira ENDOU, Hitoshi IEDA	CONCEPTS OF THE COLLABORATIVE INFRASTRUCTURE MANAGEMENT METHOD AND ITS APPLICATION IN HOKKAIDO	Proceedings of The 7th Eastern Asia Society for Transportation Studies（CD-ROM）, 2007.9
Akiyoshi Kannari, Yutaka Tonooka, Tsuyoshi Baba, Kentaro Murano	Development of multiple-species 1 km×1 km resolution hourly basis emissions inventory for Japan	Atmospheric Environment, 41, 2007, p.3428-3439.
Hiroimitsu YAJIMA, Atsushi SUZUKI, Sonoko ENDO	Requirements for the Substantive Public Involvement in Transportation Infrastructure Development: Analysis of Causes of Public Disputes	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies Vol. 7, p.1532-1545.
Kazuaki Miyamoto, Kazushige Hayashi, Nobuhiro Akimoto, Yoshiyuki Tokunaga	Comprehensive Transportation Plan with a Proposal for City Structure Reform: Sendai Metropolitan Area Transportation Plan 2005	Proc. of the 11th WCTR（CD-ROM）, USA, 2007.
M. SHIMIZU, T. HYODO, Y. HAGINO, H. TAKEBAYASHI	Study of delivery distribution in the central area by Tokyo Metropolitan Region Freight Survey	The Fifth International Conference on City Logistics（11-13 July 2007, Crete Island, Greece）
T. HYODO, Y. HAGINO, H. TAKEBAYASHI, K. ENDO	Modeling Logistics Location Choice and Truck Route Choice Behavior by Tokyo Metropolitan Region Freight Survey	The Fifth International Conference on City Logistics（11-13 July 2007, Crete Island, Greece）
Y. MOHRI, T. BABA, J. OIKAWA	A Study on Vehicle Emission Factor in view of the Driving Conditions	Proceedings The 11th World Conference on Transportation Research（CD-ROM）, 2007.6

2007年研究報告（報告・発表・講演・記事など）一覧

著者（発表者）	題名	掲載書籍（発表会議・会場）
桐越信, 澤田和宏, 毛利雄一	道路投資のやさしい費用便益分析－理論と適用－第5回費用便益分析のための交通需要予測の方法	交通工学, Vol. 42, No. 4, 2007, p. 109-122.
黒川洸	一期一会	都市計画, 264号, p. 2
黒川洸	これからの社会資本整備を考える－環境・緑・森林の視点から－	グリーン・エイジ, 1月号, p. 25-27.
黒川洸	今後の都市交通・市街地整備のあり方	新都市, Vol. 61, No. 2, 2007, p. 8-12.
黒川洸	総括報告 集約型都市構造の実現に向けて 特集 集約型都市構造の実現	区画整理, 平成19年7月, p. 6-20.
黒川洸	展望編 住宅・宅地・都市政策への提言 今後の都市整備と都市計画制度	日本の住宅・都市, 2007, p. 26-29.
小島浩	公共交通って、本当に必要な？－「人の動き」からみる仙台都市圏の公共交通利用実態からの報告－	市民連続講座：EST事業「バスでどこエコ？」. 特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム主催, 2007年11月17日.
小島浩	持続可能な都市運営には公共交通の活性化が欠かせない	仙台商工会議所月報「飛翔」, No. 252, 2007.3
高橋勝美	講演 交通計画の社会実験に関する日本の取り組み状況	(社)釜山交通フォーラム主催国際シンポジウム「バス準公営制以降より効率的な公共交通活性化のために～歩行者及び公共交通中心の交通政策の方向模索」, 2007.11.5
高橋勝美	講演 これからの道路・交通政策	自動車総連第17回政策討論会, 2007.12.3
高橋勝美	パネリスト (SS1) ミニシンポジウム・交通まちづくり(1) 人と環境を重視し、都心の活性化に寄与する都心交通戦略～さっぽろ都心交通計画～	土木計画学研究・講演集, Vol. 35, 2007.6
高橋勝美	パネリスト 道路整備の中長期的課題と政策対応のあり方～まちづくりの視点, 地方の道路行政のあり方の視点から	財団法人社会経済生産性本部主催「道路整備緊急提言シンポジウム・パネル討論」, 2007.12.7
塚田幸広, 牧村和彦	ブロープデータの共有・相互利用の世界的潮流	道路, 2007年9月号.
中村俊之, 中嶋康博, 牧村和彦	高速バスロケーションデータを活用した道路旅行時間信頼性指標	第27回交通工学研究発表会（パネル展示）, 2007.11
萩野保克	大規模物流拠点と都市づくり	都市計画, Vol. 56, No. 2, p. 43.

著者（発表者）	題名	掲載書籍（発表会議・会場）
牧村和彦	講演 ブロープ ～データと活用～	ITS ジャパン「イブニングセミナー」. ITS ジャパン主催. 2007年6月15日.
牧村和彦	講演 ブロープカーデータの共有・相互利用による次世代の道路交通マネジメント	愛知県ブロープ情報勉強会. 2007年3月28日.
牧村和彦	パネリスト ブロープ技術の未来	第三回ブロープパーソン研究会：「ブロープパーソンと空間情報の融合」. 2007年8月1日.
牧村和彦	パネリスト みんなで考える福山「交通まちづくりフォーラム」 「交通まちづくり～先進都市からの知見，教訓～」	みんなで考える福山「交通まちづくりフォーラム」. 福山都市圏交通円滑化総合計画推進協議会主催. 2007年1月20日.
牧村和彦・中村文彦	PDAによる歩行者ナビゲーションの動向	交通工学. Vol. 42, No. 4, 2007.
牧村和彦, 中村文彦, 及川潤, 中嶋康博	フランス・ナンシー都市圏のPDU（都市圏交通戦略）	交通工学. Vol. 42, No. 1, 2007.
毛利雄一	講演 実務における実施可能な具体的方法	第79回交通工学講習会（東京）. 2007.7
毛利雄一	講演 実務における実施可能な具体的方法	第80回交通工学講習会（大阪）. 2007.10
毛利雄一, 井上紳一, 加藤昌樹	交通需要予測と費用便益分析	平成19年度専門課程道路計画研修テキスト. 国土交通省国土交通大学校. 2007年.
毛利雄一	国内道路交通網の今後	自動車技術. Vol. 61, No. 3, 2007, p. 49-54.
毛利雄一, 桐越信, 澤田和宏	道路投資のやさしい費用便益分析－理論と適用－ 第6回 実務において実施可能な具体的方法（1）	交通工学. Vol. 42, No. 5, 2007, p. 89-101.
毛利雄一, 桐越信, 澤田和宏	道路投資のやさしい費用便益分析－理論と適用－ 第7回 実務において実施可能な具体的方法（2）	交通工学. Vol. 42, No. 6, 2007, p. 97-105.
矢島隆	鉄軌道と都市づくり－内外の事例に学ぶ－	仙台市役所・講演
矢嶋宏光	PIの考え方と技術者の役割	第24回（東京）・25回（大阪）交通技術セミナー（尚友倶楽部・建設交流館）2007.9.7・11.
矢嶋宏光	PIの技法	第6回地域経営学講座.（社）建設コンサルタンツ協会本部. 2007.6.22.
矢嶋宏光	公共事業の住民（市民）参加の仕組みと実際	第526回建設技術講習会.（社）全日本建設技術協会主催（りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館）2007.7.12.
矢嶋宏光	信頼構築とコミュニケーション	交通工学. Vol. 42, No. 2, 2007.
矢嶋宏光	「道路整備と地域づくり」～道路づくりとコミュニケーション～	平成19年度関東国同協会講演会（日立シビックセンター）2007.11.22.
矢部努	交通の現状 1 1-2 道路ネットワークの現状	自動車交通研究. 2007, p. 38-39.
渡邊一成	連載・行動する技術者たち - 地域に貢献する土木の知恵の再認識 - 第11回培った技術をモンゴルへ！（足利工業大学工学部桃井徹教授）	土木学会誌. Vol. 92, No. 4, 2007, p. 62-63.
渡邊一成	連載・行動する技術者たち - 地域に貢献する土木の知恵の再認識 - 第14回「もったいない」を生業に！（（株）EX都市研究所特別顧問・（株）環境構想研究所所長青山俊介氏）	土木学会誌. Vol. 92, No. 10, 2007, p. 80-81.
Daisuke SUNAGA, Junko KUNIYAMA	“CONCEPTS OF THE COLLABORATIVE INFRASTRUCTURE MANAGEMENT METHOD AND ITS APPLICATION IN HOKKAIDO”	第3回日中共同セミナー交通まちづくり（熊本大学）. 2007.7.12.
Kenji HIRAMI	“Sapporo City Center Transport Plan -for the quality of ecological urban living with revitalization”	第3回日中共同セミナー交通まちづくり（熊本大学）. 2007.7.12.

出版図書紹介

IBS 出版物のご案内

IBS 出版図書の購入をご希望の方は、ホームページより申込用紙を印刷し必要事項をご記入の上、FAX 又は郵送にてお申込み下さい。(http://www.ibs.or.jp/pub-rep/shuppan/shuppan.html)

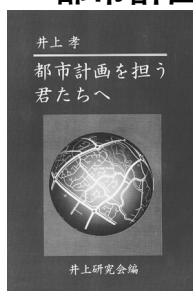
総合都市交通体系調査の手引き 解説書 2007年版



国土交通省都市・地域整備局都市計画課都市交通調査室／監修
 (財)計量計画研究所総合都市交通計画検討会／編著
 2007年10月(第2版)、(財)計量計画研究所／発行
 A4判・527頁、定価4,000円(税込)

(秋元伸裕、小島 浩、佐藤昭平、杉田 浩、鈴木喜久子、鈴木紀一、須永大介、
 高橋勝美、竹内佑一、中野 敦、平見憲司、牧村和彦、毛利雄一、森尾 淳、
 森田哲夫、谷貝 等)

井上孝 都市計画を担う君たちへ



井上研究会／編
 2002年3月、(財)計量計画研究所／発行
 A5判・369頁、定価3,000円(税込)
 (国久荘太郎、宮本成雄、大熊久夫、杉田 浩、秋元伸裕)

データでみる国際比較 ー交通関連データ集 2000ー



国土交通省道路局／監修
 (財)計量計画研究所／編著
 2000年、(財)計量計画研究所／発行
 CD-Rom(PDF形式)日本語版、英語版、定価各3,000円(税込)
 (牧村和彦、西村 巧、佐藤徹治)
 ※英語版在庫切れ

Proposals for the International Competition of Sustainable Urban Systems Design Report of the International Gas Union Special Project



Producer/National Organizing Committee of the 22nd World Gas
 Conference and The Institute of Behavioral Sciences
 Publisher/The Institute of Behavioral Sciences, 2003
 Editor/Shigeru Itoh
 ※販売はしていません。

()内は IBS 執筆者

IBS 職員執筆図書のご案内

(新刊図書)

お求めの際は、書店又は出版者にお問合せ下さい。

意見分析エンジン

計算言語学と社会学の接点



大塚裕子、乾 孝司、奥村 学／著
 コロナ社／発行
 2007年10月発行、A5判・232頁
 定価2,730円(税込)
 (大塚裕子)

道路投資の費用便益分析

—理論と適用—



桐越 信、澤田和宏、毛利雄一／著
 (社)交通工学研究会／発行
 丸善(株)／発売
 2008年6月発行、A5版・195頁
 定価2,940円(税込)
 (毛利雄一)

() 内は IBS 執筆者

(既刊図書)

書名	編著者・出版者	発行年月・形態・定価	IBS 執筆者(執筆当時)
都市の物流マネジメント (日本交通政策研究会研究双書22) 《日本物流学会賞(著作賞)受賞》	苦瀬博仁、高田邦道、高橋洋二／ 編著 (株)勁草書房／発行	2006年12月 B5判・234頁 3,200円(税別)	萩野保克
バスサービスハンドブック	土木学会土木計画学研究委員会 規制緩和におけるバスサービス に関する研究小委員会(委員 長:喜多秀行)編 (社)土木学会／発行	2006年11月 B5判・433頁 3,400円(税別)	秋元伸裕
交通まちづくり ～世界の都市と日本の都市に学 ぶ～	交通まちづくり研究会／編 (社)交通工学研究会／発行	2006年7月 A5判・213頁 2,300円(税別)	牧村和彦、高橋勝美
道路交通需要予測の理論と適用 第Ⅱ編利用者均衡配分モデルの 展開	土木学会土木計画学研究委員会 交通需要予測技術検討小委員会 ／編 (社)土木学会／発行	2006年7月 A4判・453頁 2,310円(税込)	毛利雄一、牧村和彦、 高橋勝美、松井 浩、 中嶋康博、井上紳一、 加藤昌樹、森尾 淳
「交通渋滞」徹底解剖	大口 敬／編著 (社)交通工学研究会／発行 丸善／発売	2005年8月 A5判 2,100円(税込)	牧村和彦
[改訂版]地域経済学と地域政策	H. アームストロング、J. テイ ラー／著、佐々木公明／監訳 (財)計量計画研究所地域経済学研 究会／訳 流通経済大学出版社／発行	2005年3月 A5判・555頁 5,250円(税込)	佐藤徹治、馬場 剛、 西村 巧、米川 誠、 林 達朗、島田敦子、 若井亮太、井上紳一、 森尾 淳、樋野誠一、 岩佐賢治、谷貝 等、 宮川昌之
建築設計資料集成 -地域・都市Ⅱ 設計データ編	社団法人日本建築学会／編 丸善／発行	2004年3月 A4判・199頁 12,600円(税込)	牧村和彦、高橋勝美、 秋元伸裕、須永大介
都市をつくった巨匠たち -シティプランナーの横顔-	新谷洋二・越澤明／監修 (財)都市みらい推進機構／編 ぎょうせい／発行	2004年3月 B5判・257頁 3,500円(税込)	井上 孝

書名	編著者・出版者	発行年月・形態・定価	IBS 執筆者(執筆当時)
市民参画の道づくり パブリック・インボルブメント (PI)ハンドブック	屋井鉄雄・前川秀和/監修 市民参画型道路計画プロセス研究会 /編 ぎょうせい/発行	2004年3月 B5判 2,400円(税込)	矢嶋宏光、荒井祥郎
合意形成論 総論賛成・各論反対のジレンマ (土木学会誌叢書2)	土木学会誌編集委員会/編 (社)土木学会/発行 丸善/発売	2004年3月 B6判・174頁 1,260円(税込)	矢嶋宏光
道路交通需要予測の理論と適用 第I編 利用者均衡配分の適用 に向けて	土木学会 土木計画学研究委員 会・交通需要予測技術検討小委 員会/編 (社)土木学会/発行 丸善/発売	2003年8月 A4判・194頁 1,260円(税込)	毛利雄一、牧村和彦、 高橋勝美、松井 浩、 趙 勝川、中嶋康博、 井上紳一
明日の都市交通政策 「明日の都市交通政策」研究会 (計量計画研究所自主研究)より	杉山雅洋・国久莊太郎・浅野光行・ 苦瀬博仁/編著 成文堂/発行〈品切〉	2003年6月 A5判・252頁 2,500円(税別)	国久莊太郎、石川友保
実務者のための新都市計画マ ニュアルII 6 【都市施設・公園緑地編】 都市交通施設	(社)日本都市計画学会/編 丸善/発行	2003年3月 A4判・276頁 定価19,000円 (6~10巻セット、税別)	矢島 隆、大熊久夫
成功するパークアンドライド 失敗するパークアンドライド -マーケティングの視点から考 える	(社)交通工学研究会・TDM研究 会/編 (社)交通工学研究会/発行 丸善/発売	2002年2月 A5判・161頁 2,100円(税込)	牧村和彦、高橋勝美
欧米の道づくりとパブリック・ インボルブメント ~海外事例 に学ぶ道づくりの合意形成~	合意形成手法に関する研究会/編 ぎょうせい/発行	2001年7月 B5判・233頁 2,400円(税別)	大熊久夫、矢嶋宏光、 岩佐賢治
バスはよみがえる ~バスが活 躍する時代が、またやってき た!!~	秋山哲男・中村文彦/編 日本評論社/発行〈品切〉	2000年5月 A6判・251頁 2,000円(税別)	秋元伸裕、谷貝 等
大規模開発地区関連交通計画マ ニュアルの解説 都市開発に 伴う交通問題にどう対処すれ ばよいか -望ましい都市環 境の実現に向けて-	建設省都市局都市交通調査室/監 修 大規模開発地区交通環境研究会/ 編著 ぎょうせい/発行〈品切〉	1999年9月 B5判・186頁 3,000円(税別)	宮本成雄、中野 敦、 秋元伸裕
渋滞緩和の知恵袋 -TDMモデル都市・ベストブ ラクティス集-	(社)交通工学研究会・TDM研究 会/編著 (社)交通工学研究会/発行 丸善/発売	1999年2月 A4判・182頁 2,940円(税込)	牧村和彦、高橋勝美
小さなことから始める街のリ フォーム:快適な都市のエッ センス	デービッド・スーチャー/著 矢嶋宏光・榎戸敬介/訳 集文社/発行	1998年11月 A5判・175頁 2,300円(税別)	矢嶋宏光、高橋勝美
地域経済学と地域政策	H. アームストロング、J. テイ ラー/著、坂下昇/監訳 (財)計量計画研究所地域経済学研 究会/訳 流通経済大学出版社/発行	1998年3月 A5判・543頁 4,000円(税別)	西村 巧、佐藤徹治、 谷貝 等、秋元伸裕、 佐藤和彦、岩佐賢治、 島田敦子、馬場 剛
環境を考えたクルマ社会 ~欧米の交通需要マネジメント の試み~	交通と環境を考える会/編 技報堂出版/発行	1998年2月 B6判・210頁 2,000円(税別)	中野 敦、萩野保克、 牧村和彦
都市交通問題の処方箋 -都市交通適正化マニュアル-	建設省都市局都市交通調査室/監 修 都市交通適正化研究会/編著 大成出版社/発行〈品切〉	1995年2月 A4判・288頁 4,900円(税込)	国久莊太郎、宮本成雄、 鈴木紀一、牧村和彦

書籍の内容についてホームページ(<http://www.ibs.or.jp/pub-rep/shuppan/shuppan.html>)に掲載しておりますのでご参照下さい。

編集後記

諸般の事情から本誌の発刊が大変に遅れてしまい、皆様にお詫び申し上げます。
当財団は、フェロシップや各種研修会等の公益活動を始め、都市・地域整備部門や道路部門を中心に多様な調査研究活動を行っています。今回は、それらの調査研究活動を幅広くご紹介するために、研究報告のページを大幅に増やしました、ご一読頂ければと思います。

これからもご指導、ご鞭撻を頂ければ幸いに思います。
末筆ではありますが、ご執筆頂きました皆様方には厚く御礼申し上げます。

編集委員一同

編集委員

和泉範之	(都市交通研究室)
井上紳一	(交通まちづくり研究室)
絹田裕一	(道路計画研究室)
下山 瞳	(総務部総務課)
鈴木 紀一	(企画室)
高砂子浩司	(環境・資源研究室)
中川裕二	(企画室)
西山良孝	(東北事務所)
原田知可子	(情報システム研究室)
町田美砂子	(都市・地域計画研究室)
谷貝 等	(総務部総務課)

(五十音順)

Please visit our web site

<http://www.ibs.or.jp>

財団法人 計量計画研究所 ENGLISH →

The Institute of Behavioral Sciences
IBS



Profile
ごあいさつ
IBSの概要
組織
情報公開

Contact
Contact Us
交通案内
求人情報
サイトマップ
LINK

IBS からのお知らせ

[過去のお知らせへ](#)

「第5回総合都市交通計画研修」のご案内<2007.6.27>

平成20年10月9日(木)~10日(金)、川崎市産業振興会館において、「第5回総合都市交通計画研修」を開催します。参加ご希望の方は、参加申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込み下さい。

[第5回総合都市交通計画研修のご案内へ](#)

「平成20年度IBS研究発表会・フェロシップ発表会」のご案内<2008.6.24>

2008年7月17日(木)、アルカディア市ヶ谷(私学会館:東京・市ヶ谷)において、「平成20年度IBS研究発表会・フェロシップ発表会」を開催します。参加ご希望の方は、参加申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込み下さい。

日 時:2008年7月17日(木) 10:00~17:00
場 所:アルカディア市ヶ谷(私学会館:東京・市ヶ谷)

サイト内検索

Research Activities

- [研究室紹介](#)
- [活動分野](#)
- [活動報告](#)
- [自主研究](#)
- [フェロシップ制度](#)

Publications & Reports

- [IBS Annual Report](#)
- [研究論文](#)
- [出版物](#)
- [講演・セミナー資料](#)
- [交通計画リンク集](#)

IBS Home

IBS Annual Report 研究活動報告 2007

発行日 2008年6月30日

発行責任者 財団法人 計量計画研究所
The Institute of Behavioral Sciences

理事長 黒川 洸

〒162-0845 東京都新宿区市ヶ谷本村町2番9号

TEL 03-3268-9911 (代表)

印刷所 ニッセイエブロ(株)